

ブックリスト：サイエンスカフェにいがた第28回カフェ（於・新潟県／ジュンク堂書店新潟店）
「自分メディアの時代、再び。一人の市民でもできること with ソーシャル系サービス」（岡本真）
同内容のものを、<http://d.hatena.ne.jp/arg/> にも掲載しています。

ブックリスト：サイエンスカフェにいがた第28回カフェ

「自分メディアの時代、再び。一人の市民でもできること with ソーシャル系サービス」

<ウェブの全体的な動向と思潮>

■大きな流れ

1. 梅田望夫著『ウェブ進化論 本当の大変化はこれから始まる』（ちくま新書、2006年、777円）
2. 佐々木俊尚著『グーグルーGoogle 既存のビジネスを破壊する』（文春新書、2006年、798円）
3. 森健著『グーグル・アマゾン化する社会』（光文社新書、2006年、735円）
4. 佐々木俊尚著『次世代ウェブーグーグルの次のモデル』（光文社新書、2007年、798円）

■システムティックにとらえる

5. 大向一輝著『ウェブがわかる本』（岩波ジュニア新書、2007年、987円）
6. 深見嘉明著『ウェブは菩薩であるーメタデータが世界を変える』（NTT出版、2008年、1575円）
7. 濱野智史著『アーキテクチャの生態系ー情報環境はいかに設計されてきたか』（NTT出版、2008年、1995円）
8. ニコラス・G・カー著、村上彩訳『クラウド化する世界』（翔泳社、2008年、2100円）
9. ランダル・ストロス著、吉田晋治訳『ブラネット・グーグル』（日本放送出版協会、2008年、2100円）

■社会への影響

10. 佐々木俊尚著『フラット革命』（講談社、2007年、1680円）
11. 西垣通著『ウェブ社会をどう生きるか』（岩波新書、2007年、735円）
12. 佐々木俊尚著『インフォコモンズ』（講談社、2008年、1365円）
13. キャス・サンスティーン著、石川幸憲訳『インターネットは民主主義の敵かーRepublic.com』（毎日新聞社、2003年、2000円）

<ソーシャルウェブの登場>

14. 滑川海彦著『ソーシャル・ウェブ入門ーGoogle、mixi、ブログ…新しいWeb世界の歩き方』（技術評論社、2007年、1659円）
15. 佐々木俊尚著『ブログ論壇の誕生』（文春新書、2008年、798円）
16. シャーリーン・リー、ジョシュ・バーノフ著、伊東奈美子訳『グランズウェルーソーシャルテクノロジーによる企業戦略』（翔泳社、2008年、2100円）

<ネット時代の読み書き算盤>

■個のあり方

17. 金子郁容著『ボランティア もうひとつの情報社会』（岩波書店、1992年、819円）
18. 野村一夫著『インターネット市民スタイルー知的作法編』（論創社、1997年、1575円）
19. 佐々木俊尚著『仕事するのにオフィスはいらない』（光文社新書、2009年、798円）

■調べる

ブックリスト：サイエンスカフェにいがた第 28 回カフェ（於・新潟県／ジュンク堂書店新潟店）
「自分メディアの時代、再び。一人の市民でもできること with ソーシャル系サービス」（岡本真）
同内容のものを、<http://d.hatena.ne.jp/arg/> にも掲載しています。

20. 佐々木俊尚著『3時間で「専門家」になる私の方法』（PHP 研究所、2007 年、1365 円）
21. 上野佳恵著『情報調査力のプロフェッショナルルービジネスの質を高める「調べる力」』（ダイヤモンド社、2009 年、1575 円）

■書く

22. 佐々木俊尚著『ひと月 15 万字書く私の方法』（PHP 研究所、2009 年、1050 円）
23. 酒井聡樹著『これから論文を書く若者のために大改訂増補版』（共立出版、2006 年、2730 円）
24. 酒井聡樹著『これからレポート・卒論を書く若者のために』（共立出版、2007 年、1890 円）

■話す

25. D.E.ウォルターズ・G.C.ウォルターズ著『アカデミック・プレゼンテーション』（朝倉書店、2003 年、2730 円）
26. R.H.R.アンホルト著、鈴木炎・I.S.リー訳『理系のための口頭発表術－聴衆を魅了する 20 の原則』（講談社ブルーバックス 1584、2008 年、924 円）
27. 酒井聡樹著『これから学会発表する若者のために－ポスターと口頭のプレゼン技術』（共立出版、2008 年、2835 円）

■協調する

28. ドン・タプスコット/アンソニー・D・ウィリアムズ著、井口耕二訳『ウィキノミクス マスコラボレーションによる開発・生産の世紀へ』（日経 BP 社、2007 年、2520 円）
29. デビッド・ワインバーガー著『インターネットはいかに知の秩序を変えるか？－デジタルの無秩序がもつ力』（エナジクス、2008 年、2520 円）
30. ピエール・アスリーヌ他著、佐々木勉訳『ウィキペディア革命－そこで何が起きているのか？』（岩波書店、2008 年、1785 円）

■共有する

31. 岡本真著『これからホームページをつくる研究者のために－ウェブから学術情報を発信する実践ガイド』（築地書館、2006 年、2940 円）

■催す

32. 牟田静香著『人が集まる！行列ができる！講座、イベントの作り方』（講談社α新書、2007 年、840 円）

■守る

33. 仲正昌樹著『ネット時代の反論術』（文春新書、2006 年、767 円）
34. 荻上チキ著『ウェブ炎上－ネット群集の暴走と可能性』（ちくま新書、2007 年、735 円）
35. 荻上チキ著『12 歳からのインターネット』（ミシマ社、2008 年、1260 円）
36. 荻上チキ著『ネットいじめ－ウェブ社会と終わりのなき「キャラ戦争」』（PHP 新書、2008 年、777 円）